

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

## 外部評価委員会 開催報告

11/22(土) 14:00~17:00

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～では、これまでの事業活動を振り返り、また今後の活動の重要な指針とするため、外部評価委員会を受審しております。

今年度は外部評価委員として、公益財団法人 がん研究会有明病院 門田 守人 院長、独立行政法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 林 憲一 部長、一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 天野 慎介 理事長をお招きし、評価を頂きました。

順天堂大学 学長 / 統括責任者

木南 英紀

首都圏の順天堂大学を主管とし、東北・山陰までの広域をカバーした7大学連携によるがん医療維新を目指す本事業の構想・志は外部評価委員から高く評価して戴いた。しかし、7大学が単独で、あるいはコンソーシアムとして各地域の病院・自治体などと連携してICT講義や研究セミナー、市民公開講座等が数多く開催されていることはよくわかったが、受講者や患者によるレスポンスをキャッチアップし、アウトカム評価として教育改革やがん医療維新にもっと生かして欲しいというご指摘があった。また、何が最終目標であるか明確なメッセージとして伝わってこないという示唆があった。これらのコメントを真摯に受け止め、改善計画を立て実行していくことにしたい。

順天堂大学 医学研究科長 / 事業推進責任者

新井 一

本年度の外部評価委員会において、本プランの主目的として掲げている連携7大学のICTによる連携・循環型交流など、多分野において高い評価をいただいた。しかしながら、いくつかのご指摘いただいた事項については真摯に受け止め、更なる国際化を視野に入れた体制を整え、本プランをより活発で充実したものにしていく必要がある。一丸となって取り組んでいくよう皆さまのご協力をお願いしたい。

順天堂大学 医学研究科 呼吸器内科学 教授 / 統括コーディネーター 高橋 和久

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～の外部評価が11月22日に順天堂大学で行われた。がん研究会有明病院院長の門田守人先生、国立がん研究センター中央病院薬剤部長の林憲一先生、グループ・ネクサス・ジャパン理事長の天野慎介先生を評価委員として迎え、本プランの活動実績、昨年の外部評価で指摘された国際化、研究者育成、人の循環などに対する改善結果などを報告し、概ね高い評価をいただいた。今後は宿題としていただいた本プランに対する患者、国民からの評価、産学官連携を通じてのがん医療・研究のさらなる発展へいかに繋げるかについて検討していきたい。

順天堂大学 医学研究科 分子病理病態学 教授

樋野 興夫

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン: ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会」(順天堂大学に於いて)に参画した。各連携大学から「教育分野」・「地域分野」・「研究分野」・「ICTと大学間連携事業」について、それぞれの成果・現状報告がなされた。順調な進展を感じた。「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」は、『「しっかりとした土台」、「しっかりとした骨組み」、「しっかりとした使命感」を持った「杭となり、羅針盤」となる「医療の隙間」を埋める「医療人の育成」を目指す事業であり、まさに「医療のあらゆる行動に普遍性の烙印を押す、教養ある、本質的な人間教育の見直し」でもある。その手段は「目的は高い理想に置き、それに到達する道は臨機応変に取るべし」である。これこそ「医療維新」の心得であろう。本事業が「医療維新」の舵取りなる予感がする。



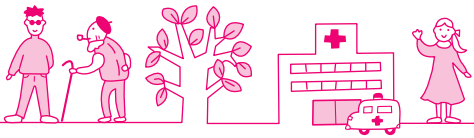


順天堂大學 y



Ercc 順天堂大學





# 情報 コーナー

## 報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **市民公開シンポジウム（立教大学）**  
**テーマ「切らずに治す放射線がん治療」**  
 講師：国立がん研究センター東病院臨床開発センター粒子線医学開発部長 秋元 哲夫 先生 他  
 2014年10月18日（土）13:00～16:30 ICT接続により連携7大学各校に配信
- **国際シンポジウム（岩手医科大学）**  
**テーマ「がんプロから考える 日本発の国際貢献」**  
 司会：岩手医科大学産婦人科学講座 小山 理恵 准教授 小嶋 敦美 講師  
 2014年11月21日（金）14:00～17:30 ICT接続により連携7大学に配信
- **外部評価委員会**  
 2014年11月22日（土）14:00～17:10 順天堂大学 センチュリータワー
- **肺がんシンポジウム（順天堂大学、岩手医科大学、島根大学、鳥取大学）**  
**テーマ「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究」**  
 ゲストスピーカー：タイ マヒドン大学 Dr. Thanyanan Reungwetwattana 他  
 2014年11月27日（木）14:30～17:00 ICT接続により タイ マヒドン大学および連携7大学に配信
- **地域シンポジウム（島根大学）**  
**テーマ「在宅緩和ケアを広げるために」**  
 講師：島根大学医学部附属病院緩和センター 橋本 龍也 先生 他  
 2014年12月22日（月）18:00～20:30 ICT接続により連携7大学に配信

## 今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **ICT特別講義（島根大学・鳥取大学）**  
**テーマ「チーム医療の日米比較～トマスジェファーソン海外研修～」**  
 2015年1月19日（月）18:30～20:00 島根大学 医学部 みらい棟 4階ギャラクシー
- **ICT特別講演会（明治薬科大学）**  
**テーマ「中性子捕捉療法に向けたドラッグデリバリーシステムの応用」**  
 2015年1月21日（水）18:30～19:30 明治薬科大学 清瀬キャンパス フロネシス棟 8211教室
- **全国がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同フォーラム（がん薬物療法FD）**  
 2015年1月29日（木）10:00～17:00 東京大学山上会館 2階大会議室
- **臨床研究研修会（合宿）**  
 2015年2月28日（土）～3月1日（日）順天堂大学にて開催

## 編集後記

順天堂大学は、この度【2015年4月開設決定】国際教養学部の設置が認可された。「国際教養学部 開設記念シンポジウム」も、今年企画されることであろう。『「なすべきことをなそうとする愛」は、「高き自由の精神」を持って医療に従事する者の普遍的な真理である。「他人の苦痛に対する思いやり」は、医学・医療・教育・研究の根本である。「古き歴史と日新の科学」を踏まえて、次世代の新しい精神性として改めて問い直す時代の到来である。人間の尊厳に徹した医学・医療・教育・研究の在り方を考え、「潜在的な需要の発掘」と「問題の設定」を提示し、「医学・医療・教育・研究」に「新鮮なインパクト」を与える』ことが「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の目的でもあろう。まさに、「人生のversion upの邂逅」でもある。

全国の小・中学校関係の雑誌に『人の生と死からみた今後の教育の向くべき方向』を執筆する機会が与えられた。『最も剛毅なる者は最も柔和なる者であり、愛ある者は勇敢なるものである』とは、「教養の普遍性」であろう。「日々の出来事の丁寧な観察」は「寺子屋的な文章書きの習慣」によって、養われることであろう。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

## 順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>